

まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：まさゆき倶楽部事務局

まさゆき倶楽部事務局 東興華空間 目黒区柿の木坂3-3-1 TEL03-3414-7562 FAX03-3410-5130

ドカー 晴時々曇時々強風
今日は昼からと夜と2回のコンサートがあり忙しかった。朝から少し練習をして、とりあえず会場に行く。映画館も併設されている小さな劇場

2(28水)ニューカッスル晴
時々雨時々強風
日本からの疲れもさめやらぬままロンドンを立ちぬニューカッスル行きの列車に乗り込んだ。久しぶりの汽車という訳ではないが見た事のない新型車輛の格好良さに驚きと興奮を隠せない。国が違うと新型でもこうも落ち着きと伝統、品格のデザインを生み出すのかと洗い外観に感心した。しかし中に入ると満席の客と狭すぎる空間に荷物一つ置けないスペースに日本の車輛の機能性と快適さを思った。足して二で割るのが良いだろうが、夜18:00頃ニューカッスルに到着。迎えにきてくれたアーニさんの車でノースシールズ(向かう。すぐ夕飯になりスモークサーモンとビーフキャセロールを頂く。懐かしいイギリスの味である。疲れもありとにかく早く休んだ。
3(1木)サウス シールズ & レッ

イギリスリサイタル日記

会場は小さなチャペルは1700年代という事で私のヴァイオリンと近く話題になる。みるみるうちに人が集まり会場はいっぱいになった。

ランチタイムリサイタルを終え、同じ建物内のキャンティーンでサンドウィッチを頂く。その後夜のコンサート会場に近いレッドカーのピーターさんのお宅で休息、旅の疲れはまだ確実にあり、りといにかく休む。あつという間に夜のリサイタルの時間が近づく。家の中はとも暖かいが外の空気は本当に冷たく目が良く覚める。



である。お世辞にも音響はいいとはいえないがそれでも皆楽しみに集まってくるのだと思うとリハにも力が入る。

夜、いつもの様に19:30開演、会場はほとんどいっぱいになっていた。それにしても聴衆はお年寄りばかりである。平均年齢70歳といった所だろうか。昨日と違い今日と違いこの町の若者はどこに行っちゃったのかという状態である。これからの音楽界が心配である！

3(2金)ノース シールズ晴
朝からゆっくりに練習したり休んだり普段ではなかなか出来ない様なスケジュールで過ごす。今日の会場は歩いて5分程の教会、こんなにも近くで本番も久しぶりであり楽である。日本からの時差もあり午後に入ると疲れがどっと出てくる。ここ最近はどうも時差が取れるのに前よりも日数がかかるようだ。
早めに一度会場に出かけピアノの位置、状態その他チェックをする。こちらでのコンサートは日本では考えられない様な不測の事態がしばしば起こるので大切である。思っていた通り調律も全くとできておらずすぐに来てもらった。

とても良く響きしばし余韻を楽しんだ。
終演後はトルコ料理を頂く。長い一日であった。

木野雅之スケジュール 2007年4月~2007年9月

日	日時	公演名	場所	共演者	曲目
	4/8(日)14:00	日フィル第313回名曲コン	東京 オペラシティ	飯森範親(指揮)他	J.シュトラウス こうもり他
☆	4/10(火)19:00	リサイタル全国ツアー	静岡 毎日江崎H	依田正史(Pf)	プロッコ バールシエム他
☆	4/12(木)19:00		福岡 えーるピアク留米視聴覚H		
☆	4/15(日)19:00		山梨 甲府市総合市民会館芸術H		
	4/19(木)19:00	日フィル第589回定期	東京 オペラシティ	尾高忠明(指揮)他	モーツァルト 交響曲第40番他
	4/20(金)19:00	日フィル所沢支部創立20周年コン	埼玉 所沢キューブH	中谷郁子他	バガニーニ 弦楽四重奏曲第3番他
☆	4/22(日)14:00	リサイタル全国ツアー	長野 茅野市民館CH	依田正史(Pf)	プロッコ バールシエム他
☆	4/24(火)19:00		東京 東京文化会館小		
	4/27(金)14:00	日フィル国立高校第九	東京 府中の森	飯守泰次郎(指揮)他	ベートーヴェン 第九
☆	5/2(水)20:30	リサイタル	フランス アルルシャペルドゥメジャン	木野真美(Pf)	ヒンデミット ソナタ第1番他
	5/10(木)19:00	日フィル第590回定期	東京 オペラシティ	エリック・ハイドシェック(Pf)他	チャイコフスキー フランチェスカ・ダ・リミニ他
	5/11(金)19:00	日フィル第227回横浜定期	神奈川 みなとみらい	中村絃子(Pf)他	ハチャトリアン ガイーヌ他
	5/19(土)18:00	日フィル第314回名曲コン	東京 オペラシティ	渡邊一正(指揮)他	ムソルグスキー 禿山の一夜他
☆	5/23(水)18:30	日フィル東北公演	青森 市文化会館	菊池洋子(Pf)他	リムスキー・コルサコフ シェヘラザード他
☆	5/24(木)18:30		宮城 県民会館		
☆	5/25(金)19:00		埼玉 ソニック		
☆	5/26(土)16:00	リサイタルツアー	東京 世田谷美術館	式守満美(Pf)	ヒナステラ パンペアーナ他
☆	5/30(水)19:00	佐賀 楽庵			
☆	5/31(木)19:00	リサイタルツアー	佐賀 武雄温泉武雄市文化会館小H		
☆	6/2(土)19:00		福岡 あいれふH		
☆	6/3(日)13:00 16:00	男二人旅リサイタル シリーズ第1回(ハンガリーの旅)	大阪 モーツァルトサロン	吉山輝(Pf)	バルトーク ソナタ第2番他
	6/7(木)18:30	日フィルヤマハ・ガラコンサート	東京 オーチャードH	三浦友理枝(Pf)他	ラフマニフ 協奏曲第1番他
	6/9(土)18:00	日フィル第228回横浜定期	神奈川 みなとみらい	真田伊都子(OB)	R.シュトラウス 協奏曲他
☆	6/10(日)12:00	発表会	東京 華空間	菊池晶子他	シベリウス 協奏曲他
	6/14(木)19:00	日フィル第591回定期	東京 サントリーホール	マルティン・ジークハルト(指揮)	ワーグナー ジークフリート 牧歌他
	6/15(金)19:00	リサイタル	兵庫 リパティかこがわ	渋谷香帆(Pf)	シマノフスキー ロマンズ他
☆	6/16(土)18:30	リサイタル	東京 杉並公会堂	仲道郁代(Pf)	スコット 蓮の国他
☆	6/20(水)19:00	リサイタル	東京 杉並公会堂	山下泰資(Vc)他	
☆	6/21(木)~6/25(月)	スイス ツアー	スイス	木野真美(Pf)	サラサーテ カルメン他
☆	6/28(木)18:45	リサイタル	愛媛 松山市民会館	吉山輝(Pf)	フバイ カルメン他
☆	7/2(月)14:00	男二人旅リサイタル	大阪 千中A&Hホール		
	7/15(日)18:00	ルガーノQ日本全国ツアー	東京 カザルス	タマス・マイヨル(VI)他	ミヨー 世界の創造他
	7/18(水)14:00		東京 杉並公会堂		
	7/19(木)		秋田 大曲		
	7/21(土)		兵庫 西宮大谷美術館		
	7/22(日)		滋賀 琵琶湖フィガロH		
☆	7/24(火)~8/2(木)	フィンランド 10周年記念オウルンサロ音楽祭	フィンランド	舘野泉(Pf)他	メンデルスゾーン 協奏曲第1番他
	8/3(金)~8/6(月)	セミナー	長野 蓼科		
	8/7(火)~8/9(木)	セミナー	北海道 定山溪		
☆	8/10(金)~8/12(日)	セミナー	北海道 女満別		
☆	8/17(金)	リサイタル	フランス クルーズ		
	8/21(火)~8/28(火)	セミナー	台湾 台北		
	8/31(金)19:00	トリオ ミンストレル日本ツアー	北海道 札幌ルーテルH	北住淳(ピアノ)他	ブラームストリオ第1番他
☆	9/3(月)19:00	リサイタル	北海道 札幌JR北海道本社	渋谷香帆(ピアノ)	イベール 白い小さなるぼ他
☆	9/5(水)18:45	リサイタル	東京 紀尾井H	山上有紀子(ピアノ)	原ソナタ他
☆	9/7(金)	しあわせを呼ぶコンサート	神奈川 宮前市民館	佐藤寛子(アルト)他	ベートーヴェン 第九他
	9/21(金)19:00	トリオ ミンストレル日本ツアー	熊本 人吉カルチャーパレス	小川剛一郎(チェロ)他	ドビュッシー ミンストレル他
	9/22(土)19:00	ソロリサイタル	熊本 多良木石倉交流館		
	9/29(土)19:00	トリオ ミンストレル日本ツアー	大阪 ザ・フェニックスH	北住淳(ピアノ)他	ブラームストリオ第1番他

終演後、近くの中華料理をテイクアウトし主催者の友人共々一緒に頂いた。なぜか今日は非常に疲れた。

3(土)〜6(火)レッドカー、アイトン、ヨーク、バンブルグ&ホーリー島他、晴時々雨、強風

四日間は完全な休みになった我々は最初の二日間はレッドカーのピーターさんのお宅へ引越しお世話になった。最初の日はキャプテン・クックの生誕地、アイトンの村とその近くにある記念碑のある丘へドライブに連れて行ってもらい久しぶりに運動をした。二日目はヨークにある世界一の鉄道博物館に行った。いきなり日本の新幹線に出会い驚いたが実は世界殿堂入りしたのであった。とても誇りに思った。その他ディーゼルではスピードの世界記録を持つマラード等々見きれない程の車輛の数に一日楽しんだ。

三日目からは再びノース・シールズに戻り家でゆっくり過ごしたが四日目はコンサートもない事から近くの城巡りのドライブに連れていってもらった。途中、人は全くいないのに牛ばかりがいる珍しいビーチを見て驚いた。とにかく日頃の疲れを取った充実した四日間の休みであった。

3(7)水)スコットランド、アバディーン&シェトランド島、レウイツク晴時々曇、強風

朝ニューカッスル空港を立ちアバディーン経由でシェトランド島へ向かった。空港での乗り換えにはだいぶ時間がありゆっくり過ごした。もちろん小型のプロペラであった。初めて訪れるシェトランド島は木が全くといっていい程ない不思議な島である。何でもいつも強風にさらされるこの大地には木が育たないらしく代わり豊かな牧草地帯がずっと広がっている。人口22,000人に対して羊が300,000頭いるらしくドコモかしこも羊だらけである。

shetland arts

Masayuki Kino
(Violin)
Mami Shikimori
(Piano)

Lerwick Town Hall



Thursday 8th March 2007

サンバラ空港に迎えにきてくれたのはこの島で暮らす画家のリチャードさんであり車中にもいろいろと説明してくれとても楽しかった。どこ

までも続く長い道やあまりにも広大な景色に心が落ち着く。遠くが見えるという事がこんなにも素晴らしい事かと実感した。

ホテルは手違いで私だけ初日は別の所になったが問題ない。しばし休んだ後、マスタークラスに学校にでかける。7人の生徒達は9〜15歳位だろうか。初めて見る日本人の先生に緊張のあまりか泣いてしまったりおむね楽しいレッスンであった。

夜はシェトランド料理でも思ったが聞く所によるとそんな物はなくこの島でおいしいのは中華料理とインド料理だと言う事で今夜は中華、明日はインドとなった。

3(8)木)シェトランド島、エシヤネス&レウイツク晴時々曇時々雨強風
とにかく島の天気は変わりやすく

明日はいよいよロンドンに帰るが今回初めて訪れたこのシェトランド島にぜひ又、魅力的なプログラムで演奏したいと強く思った一夜であった。

プログラム
ピアノ 式守満美
モーツアルト ソナタ第25番ト長調 K.V. 301

シマノフスキ ソナタ
イザイ エクスタシー
レスピーギ ソナタ
貴志 竹取物語
ヒナステラ パンペアーナ第一番。
(木野雅之)

「オウルンサロ音楽祭」兵庫」を聴いて

このコンサートは3月15日、西宮にある兵庫県立芸術文化センターにおいて開催されました。もともとこのオウルンサロ音楽祭は、北フィンランドの街オウルンサロにて毎夏開かれているもので、ピアノリストの館野泉氏が芸術監督を務めておられます。(木野さんは1999年、その第2回目の音楽祭に出演され、素晴らしい演奏と、いくつかの楽しいエピソードによって、大人気を獲得されていきました)

この音楽祭の特徴は「ヴェテランの演奏家と中堅、若手の演奏家とともに音楽の中で生命を燃焼させる」という館野氏独自の美学が軸となっていること。(実は私もこの音楽祭に毎夏参加していますが、その度に新しい演奏家や作品との出会いと数々の試練によって、次のシーズンにむけての大きなエネルギーを与えていただいております)また、わずか1週間の間に30回近く

のコンサートを教会、美術館、野鳥観測塔など様々な場所で開催することが、聴いてくださる街の方々との間に徐々に親密な空気を生み出し、終盤には音楽祭の高揚感とともにできることも、この音楽祭の素敵な要素です。

さて、今回行われた兵庫のコンサートはオウルンサロ音楽祭の次期音楽監督、ヤンネ館野くん(館野氏の



フィンランド オウル市内にたたずむボリス像、木野雅之！ よ〜く似ている〜？

ご子息)のプロデュースによるもので、午後1時から夜10時まで続いた4部構成のマラソンコンサートでした。これは本場オウルンサロ音楽祭にて恒例の、アーティスト総出演による長い長いガラコンサート(夕方6時から時には明け方の4時まで

もありません)の形を紹介する意味を含んでいたのでしょうか。プログラムにはシベリウスやグリグなど北欧作品の紹介は勿論のこと、パーセルやブリテン、ショスタコーヴィチなどの透徹した世界、ノスタルジックなドヴォルザークやピアソラの熱いたンゴ、そしてノルドグレンやエヴァイゼンによる数年前に生まれたばかりの新しい作品などが並んでいました。これだけの曲数のプログラムをずっと聞き徹すことは相当大変だろうなと懸念していましたが、実

5分おきにいろいろと変わる。しかしおおむね晴れており快適にドライブを楽しんだ！この島からは日本向けに鯖と鰯をかなり輸出しているらしく他にも鮭や鱒を養殖している光景も見られた。又、石油基地もあり全体的には極めて豊かな島であり本土へ渡った人間はほとんどこの島へ戻って暮らす程であるという。家がずいぶんといギリスのレンガ造りとは違い多くが石で出来ており又、屋根や壁の色も青や赤等、聞いた話では500年前まではノルウェー領だったらしくその影響がかなりあるらしい。

エシヤネスと言う、町とは言える規模ではなく集落に着くとそこにはどこまでも美しい色の海と波の音があふれた。ちょうど雨上がりで虹も我々を出迎えてくれた。午後は地元の新開のインタビュー他リハールを行い夕方には少し休んだ。今夜はいよいよこのツアーの最後のリサイタル、とてもステンドグラスが素敵なタウンホールにスタインウェイのピアノ、そして若者も何人か見受けられるいっぱいの会場、最後にとっても幸せな気持ちで演奏する事が出来、大成功であった。

実際に聴いてみるとまるで宝箱をひとつひとつ開いているような楽しさと驚きがあり、どの演奏からも決して目を離す事ができませんでした。そして、中でも一番の盛り上がりを見せたのが、木野さん選によるブラームスのピアノ四重奏第一番です。しかし木野さんは2日前に帰国されたばかりと聞いていたし、状況から察するに本番前も充分なりハースル時間はなかった筈。それでいながら、どうしてこんなに息をつかせぬ程の迫力とスピード感溢れる演奏ができるのか、と舌を巻いてしまうような見事な演奏でした。

木野さんは、この夏の7月26日から8月3日まで開催されるフィンランドのオウルンサロ音楽祭にも出演されるそうです。夜中まで沈まぬ太陽、月の引力からではなく風の力で満ち引きする海、それらの自然の不思議に加え、時が止まったかのよう静寂感を維持するオウルンサロの街が木野さんの演奏に満たされ、人々が酔い痴れる。その素晴らしいひと時の光景が、すでに兵庫でのコンサート聴きながら目の前に浮かんで来るような思いでした。